



2・3月号

発行所 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内 公益財団法人茨城県消防協会 編集発行人 消防協会長 葉梨 衛 印刷所 (有)堀口印刷 1部 15円 (購読料は年会費に含まれています)

消防職員意見発表会

茨城県消防長会主催の第四十一回全国消防職員意見発表茨城県大会が、平成三十年二月八日(木)に小美玉市四季文化館のくれにおいて開催されました。県内各消防本部から一名が出場し、真摯で熱気あふれる発表会となりました。

《審査結果》

・最優秀賞

日立市消防本部 萩谷 一斗 「僕の私の防災ブック」

・優秀賞

かすみがうら市消防本部 中山 喬仁 「いざという時PUSH!PUSH!」

・優秀賞

稲敷広域消防本部 跡邊 千香 「世界一のバイスタンダース」

・優秀賞

茨城西南消防本部 井上 翔太 「命を繋ぐバトン」

最優秀賞の萩谷一斗さん、優秀賞の中山喬仁さんは、四月二十六日(木)に水戸市で行われる第四十一回関東支部消防職員意見発表会に本県代表として出場する予定です。

ここに、最優秀賞の発表内容をご紹介します。

「僕の私の防災ブック」

日立市消防本部 萩谷 一斗

「みんな、お・か・し・も、この言葉分かるかなー」「分かるよー、押さない、駆けない、喋らない、戻らないー。みんな知ってるよー。」これは、私が市内の小学校で避難訓練指導をした時のことです。

この四つの頭文字は、一九九五年の阪神・淡路大震災の教訓として総務省消防庁が教育指導ガイドラインに掲載し、全国に広まったとされています。

現在の小中学校では、年二回以上の避難訓練を実施していますが、内容的にあまりリアリティーのない訓練になっているのが現状です。実災害のイメージも付きていく、何のための訓練なのかを理解できていないまま行っていたというのが、幼かった頃の私の本音でもあります。しかし、そういった訓練の中でも、「お・か・し・も」という言葉はとても覚えやすく、私の心に強く残っています。

私は、「お・か・し・も」のような、大



最優秀賞を受賞した萩谷さん

人になって心に残るようなものはないか考えました。そこで、「防災ブック」を提案します。防災ブックは、小学校一年から中学校三年までの九年間をかけて学ぶ防災に関する情報を詰め込んだ、その人だけの一冊の本です。

まず始まりは、小学校低学年ということとを踏まえ、消防車のイラストを見て名前を答える問題や、その車両の役割について答えるなど、クイズ形式で防災について興味を持ってもらうことを目的とします。

小学校中学年では、火災や水害、自然災害などの災害の種類を考え、その災害にどんな恐ろしさがあるかをまとめてもらいます。また、地域交流センターで実災害の映像を視たり、おじいさんおばあさんの経験談を聞くなどして、地域との繋がりを持つとともに、災害に対する意識づけを行います。

高学年になれば、社会の授業で地理を学びます。地図の見方も覚えることができるので、自分が住んでいる地域の地図を活用して、自分だけの防災マップを作ります。

大災害が発生したとき、避難所はどこ？冠水しやすい場所は？自分の家は海拔何メートル？AEDはどこに設置されている？など、自分が住んでいる地域に特化したオリジナルマップを作ることで、いざ、大災害が発生した場合でも、焦ることなく避難し、被害を最小限に抑えられると考えます。

また、小学生のうちは、家での宿題を出すことにより、本人だけでなく、家族も含め防災の知識向上ができると考えます。

中学生では実践に入っていきます。まず、地域の山や川など危険と思われる箇所を調査して安全な避難ルートを検討します。さらに消防署で体験学習を行い、有事の際に協力できる技術を習得します。

このように、ありとあらゆる危険の対策を考えページに書き込んでいき、その中で何ができるか、やるべきことは何なのか、最善の方法をグループディスカッションしてもらいます。仲間たちの考え方を知ること、自助だけでなく共助の意識を育てるのです。

こうした九年間の積み重ねが終わったとき、自分一人の防災ブックが完成するとともに、知識・技術、そして何より、災害に皆で立ち向かおうという強い意識が身につけていることでしょう。

長い年月をかけ、自分の住んでいる街を考えながら作成した防災ブックは「お・か・し・も」のように大人になっても必ず、心に残り続けると私は確信しています。

この防災ブックを作った子供たちが大人になったとき、一人ひとりの防災意識が高く、どんな災害にも屈しない、災害に強い街作りにつながると考えます。いつの日か、世界に一つしかない防災ブックが活躍することを願って……。



右から高星翔くん、渡邊天くん、知事、小林陽菜さん

第35回

火災予防ポスター

コンクール表彰式

小・中学生を対象とした火災予防ポスターコンクールの表彰式が、平成三十年二月二十三日(金)県庁「第一応接室」で開催され、大井川知事から表彰状が授与されました。

このコンクールは、茨城県幼年婦人防火委員会(会長・大井川知事)の主催で毎年行われ、十二月八日(金)に開催された「ポスターコンクール審査会」において、入選作品が決定しました。



渡邊天くん(勝倉小)の作品

応募総数四千四百三十七点の中から県内各地域が推薦した二百六点が審査会に掛けられ、厳正な審査の結果、次の三名が「最優秀賞」に決定しました。

〔小学生低学年の部〕

北茨城市立明德小学校

二年 高星

翔くん

〔小学生高学年の部〕

ひたちなか市立勝倉小学校

四年 渡邊

天くん

〔中学生の部〕

那珂市立第三中学校

二年 小林

陽菜さん

なお、最優秀賞の中から、『渡邊天くん』の作品が火災予防ポスターの「原画」に決定しました。

平成29年度 消防功労者表彰

平成29年度茨城県消防功労者表彰式が、平成30年2月22日(木)、県庁「第一応接室」で行われました。

当協会からは、来賓として葉梨会長ほか八名の役員が出席しました。

今年度は、「功労章」が16名(消防団長6名・消防長10名)、「表彰状」が5名(元消防団員1名・元職員4名)、合計21名の方々が受章されました。

「功労章」とは、「多年災害現場において消防業務に精励するとともに、指導者として功績顕著な者」として現職の消防団長及び消防長に授与されるものです。

また、「表彰状」とは、「多年消防業務に精励するとともに、退職後も地域の消防防災活動に尽力されている者」として元職の消防団員・職員に授与されるものです。

この表彰は、県消防大会における知事表彰とは別枠のものであり、このように元職をも対象として消防大会以外に定例的に行う表彰制度は、全国的にも例のないものです。

今年度の受章者は、次のとおりです。

『功労章』(十六名)

笠間市消防団

団長

嶋田 清

稲敷市消防団

団長

村塚 好一

かすみがうら市消防団

団長

磯部 潤一

東海村消防団

団長

根本 一成

大子町消防団

団長

藤田 稔

境町消防団

団長

加藤 正則

石岡市消防本部

消防監

小松崎 政次

北茨城市消防本部

消防司令長

小山 茂

笠間市消防本部

消防監

水越 均

取手市消防本部

消防監

中村 健二

つくば市消防本部

消防正監

大山 裕幸

大洗町消防本部

消防司令長

田山 圭佐

大子町消防本部

消防司令長

根本 正一

鹿島地方消防本部

消防正監

沼田 文彦

筑西広域消防本部

消防正監

水越 輝夫

常総広域消防本部

消防正監

中島 浩

『表彰状』(五名)

元 大子町消防団

分団長 鴨志田 功文



受章者代表謝辞(藤田団長・大子町)



消防功労者知事表彰受章者

元	常陸太田市消防本部
元	消防司令長 塩原 克巳
元	茨城県市消防本部
元	消防司令長 海老沢 廣秋
元	稲敷広域消防本部
元	消防司令 矢口 幸夫
元	稲敷広域消防本部
元	消防司令 海老原 廣志
元	消防司令 廣志



受章者代表謝辞(木村元団長・坂東市)

当協会主催の消防関係者叙勲・褒章等受章祝賀会が、平成三十年二月十四日(水)に、水戸京成ホテルで開催され、受章者並びに消防関係者総勢八十五名が出席し、先輩達のご功績を讃えました。

当日は、大変お忙しいところを出席頂いた大井川知事並びに常井県議会副議長からご祝辞を頂戴し、その後、瑞宝双光章を受章された元坂東市消防団長の木村春男氏が、受章者を代表して謝辞を述べられました。

祝宴は限られた時間ではありませんでしたが、先輩方へのお祝いの言葉やお互いの近況などが語られ、終始和やかな雰囲気の中でご歓談頂きました。



特別表彰「まとい」

平成二十九年の日本消防協会定例表彰式が、平成三十年三月六日(火)ニッショーホールにおいて厳粛かつ盛大に行われました。

式典は、厳かに日本消防協会旗の入場で幕を開け、国家斉唱、消防殉職者に対する黙祷、秋本会長の式辞と続き、各表彰の授与が行われました。

本県関係の受章者は、次のとおりです。

※()は全国の受章者総数

式典は、厳かに日本消防協会旗の入場で幕を開け、国家斉唱、消防殉職者に対する黙祷、秋本会長の式辞と続き、各表彰の授与が行われました。



祝賀会の様子

- 特別表彰「まとい」(十団)
 - ・阿見町消防団
 - 優良消防団(表彰旗)(三十八団)
 - ・美浦村消防団
 - ・日立市消防団
 - ・守谷市消防団
 - ・常陸大宮市消防団
 - 功績章(九百五十七名)
 - ・大子町消防団
 - 團長 藤田 稔
 - 他二十七名
 - 精績章(二千二百七十三名)
 - ・水戸市消防団
 - 副団長 三村 達哉
 - 他六十七名
 - 勤続章(七千三百七名)
 - ・常陸太田市消防団
 - 副団長 根本 忠和
 - 他百四十三名
 - 優良婦人消防隊(十六隊)
 - ・阿見町女性消防隊
 - 優良婦人消防隊員(十六名)
 - ・磯浜地区女性防火クラブ消防隊
 - 片岡 美智子



特別表彰「まとい」阿見町

自治体消防制度 七十周年記念式典

昭和二十三年三月七日に消防組織法が施行され、市町村消防の原則に基づく今日の自治体消防制度が確立してから七十周年を迎えました。

総務省消防庁は、これを記念して平成三十年三月七日(水)国技館において天皇皇后両陛下にご臨席を賜り、記念式典を開催しました。

全国から約五千人が参列し、消防功勞者に対する内閣総理大臣表彰、総務大臣感謝状贈呈、消防庁長官表彰及び消防関係団体会長表彰等を兼ねた式典が執り行われ、本県からも八十六名の方が参列しました。

午後からは、消防・防災活動活性化大会として「全国消防職員意見発表会」および「全国消防団員意見発表会」のそれぞれの最優秀賞又は優秀賞受賞者の意見発表が行われたほか、消防団活動に協力する事業所が顕彰されました。

平成二十九年度 消防団員基礎教育 女性消防団員 講座

平成三十年二月十七日(土)に消防学校において、女性消防団員講座が開催され、県内十六の消防団から五十六名の参加がありました。

入校式では、飛田校長の挨拶、牛久市消防団山岡団長の挨拶に続き、消防学校の職員が紹介されました。



資機材等取扱



訓練礼式

当日の講座は屋外で行われ、風が冷たく寒い日でしたが、参加者は元気に教育訓練を受講し、学校の教官は、優しい対応でした。

また、阿見町女性消防隊による小型ポンプ操法の展示が行われ、第二十三回全国女性消防操法大会で優秀賞を受賞した見事な操法が終了すると、参加者からの質問に対応していました。

**オリジナルTシャツ
アポロキャップ
徽章類
消防グッズ各種**

茨城県マスコット
ハッスル黄門

ハッスル黄門ストラップ取扱店

水戸スポーツ株式会社

水戸市袴塚1-1-2
TEL029[224]3450 FAX029[224]3430

■県防災情報ネットワークシステム
■高機能消防指令システム、消防救急デジタル無線

Orchestrating a brighter world

NEC

日本電気株式会社
茨城支店

〒310-0011 水戸市三の丸1-1-25(水戸駅前ビル)
TEL 029-226-1717 FAX 029-226-1685



阿見町女性消防隊展示操法

全国シェアNo.1の消防車メーカー
(株)モリタの各種消防自動車

常に最新技術を反映して様々な災害現場で活躍する消防車を制作します。

その他の取扱品目
小型動力消防ポンプ・消防用ホース
救助資機材・潜水機材・消防用被服
防災用品・消防用品・消防資機材

**茨城県代理店
有限会社 鈴 機**

〒315-0014 石岡市国府5-2-25
TEL:0299-22-3010 FAX:0299-22-5846

Panasonic

自動火災報知設備
非常電源設備
自家発電設備
CVCF設備
FAX、パソコン

パナソニック株式会社 特機商品代理店
株式会社入江電機工業所

本 社 〒310-0031 水戸市大工町2丁目3番23号
TEL.029-224-4614(代表)
FAX.029-224-4613
千波営業所 〒310-0851 水戸市千波町海道付2027番地
TEL.029-241-3636(代表)
FAX.029-244-0540
土浦営業所 〒300-0061 土浦市並木1丁目2番20号
TEL.029-821-8498(代表)
FAX.029-822-6575

トーハツ 小型 消防 **ポンプ**

充実のVシリーズ

V75ESからV110Fまで
豊富な機種でお客様のご要望にお応えいたします。

消防ポンプ自動車 消防用ホース
消火器 消防服装
消防資機材用品一式

茨城県代理店
トキワ産業株式会社

水戸市三の丸3丁目7番1号
TEL.029(224)3324(代) FAX.029(224)3360

《編集後記》昨年四月から新たに担当し、どうにか今年度最終号の発行にたどり着けました。皆様方の御協力に改めて厚くお礼申し上げますとともに、新年度も引き続きよろしく申し上げます。(こ)